



～今月の保健目標～ エイズ・性について知ろう



今年最後の保健だよりは、少し難しいですが、エイズに関する内容です。今年度の保健だよりのなかで、一番何を書こうか悩みました。理由は、私がみなさんに知ってほしいことがたくさんあるのはもちろんですが、知ったことを「正しく」理解するということが、エイズや性に関しては特に大切だと思っているからです。

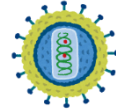
みなさんがエイズや性について知り、そこから正しく理解するためのちょっとした手伝いになればいいなと思っています。

エイズって？ HIVって？

エイズとHIVは、同じタイミングで使われることが多く、意味が曖昧になりやすいです。それぞれ簡単に説明すると次のような意味になります。

○HIV

ヒト免疫不全ウイルスのことで、頭文字をとったものです。
Human Immunodeficiency Virus



○エイズ (AIDS)

ヒト免疫不全ウイルス (HIV) に感染することで発症する感染症のことで、体の中の免疫に関わる細胞が正常に機能しなくなり、健康な時には体の中に入っても症状が出ない弱い病原体に対しても抵抗力を失い、重症化しやすくなります。「HIVに感染＝エイズ」というわけではなく、厚生労働省の定めている合併症を発症した時に初めて「エイズを発症した」と診断されます。エイズ (AIDS) という名前は、『後天性免疫不全症候群』の略称から来ています。

Acquired Immunodeficiency Syndrome



日常生活の中では感染しません！



エイズの感染経路は、①性行為②血液感染③母子感染の3つです。それぞれの感染防止対策としては、次のものがあります。

- ①性行為→避妊具を正しく使用する、性行為をしない。
- ②血液感染→ピアッサー、ピアス、かみそりなど、血液がつく可能性のあるものを共有して使わない。
- ③母子感染→検査等で早期発見、正しく治療する。



対策をしっかりとすることで、エイズは予防できます。最近では、HIVに感染しても、早期に治療を始めることで、エイズの発症を防ぐことができます。また、治療により体内のウイルス量が減ることで、周囲への感染リスクを低下させることもできます。しかし、今でも感染者は増え続け、エイズに関する偏見、差別等もなくなっていないです。過去には、「エイズは男性同性愛者だけが感染する」という偏見から生まれた差別もありました。

現在では、性の在り方の多様性も認められ始め、偏見や、差別は少しずつ減っています。エイズの感染予防として避妊具を正しく使うことにも少し関係してきますが、正しい知識を身に付けることや、みなさんの家族、友達や、恋人など周囲の人と互いに思いやることで、偏見や、差別をなくしていくことや、感染症の予防にもつながっていきます。

